

研究室近況

前号でお知らせしたように新カリキュラム体系も軌道に乗り、基礎を固め応用へと展開していく中で、十分な効果を取るべく一層の努力がなされている。

なかでも、新入生を対象として入学直後に行なう合宿セミナーは、昭和44年度から開始されているが、運営方法にも漸次改良が加えられ学生が研究室スタッフと共に社会福祉学とは何かについて論じ合い、一段と効果的なセミナーとなっている。

昭和47年度特別講義には「都市問題」早川和男講師を、また、「社会福祉の方法特論—最低生活費論」に藤本武講師を、更に「社会医学」に田中恒男講師をお迎えして、今日ある社会問題に目を向け、単に現状把握に留まらずその内在する問題性の発見に大いなる示唆を与えて頂いた。

学科スタッフ全体の動向を見ると、昭和47年4月より、スタッフ全員の参加を基盤として、関係諸氏の御協力のもとに社会福祉文献研究会を毎月1回催している。これは、「戦後から現在に至るまで理論的に展開されてきたことを、狭い意味の社会福祉の領域に限定して、時代とのかかわりのなかで問題を提起した著書・論文などを文献解題の意味をこめ、今日的な理論状況の整理とあわせて将来の展望を含めて改めてとらえかえそう」（労働旬報社『賃金と社会保障』№610 52頁）ということで発足したのである。

この文献研究は総論から各論へと積重ねつつあり、報告は労働旬報社『賃金と社会保障』に1972年9月下旬号№610より掲載されている。

更に、学科スタッフ各々の研究活動状況を紹介すると、佐藤教授は学科主任に就任されると共に、自身の研究テーマである社会保障の法体系の問題分析を深め、現代労使関係における労働協約制度の現状分析と動向の研究、及び社会福祉施設をめぐる法と行政の研究へと進めておられる。

松本教授は児童相談所と里親制度の研究を突き詰め、47年12月に『児童福祉の実証的研究 児童相談所と里親制度』（誠信書房）を刊行された。

一番ヶ瀬教授は、生活史を踏まえた上での社会福祉発達史と福祉問題の現状分析を展開し、更に幅広い学

際的研究の発展を展望しながら社会福祉の研究分野を開拓されている。

小島助教授は、留学の機会が与えられ、47年8月にオーストラリアでの世界リハビリテーション会議と国際職業更生セミナーでそれぞれ論文発表された後、米国ウィスコンシン大学、社会・人文科学大学院大学に向って旅立たれた。

米地助教授、田端専任講師、向山専任講師も各々研究活動に打込まれ、また、宇都助手は特殊条件下に置かれた児童の生活の歴史の研究、大友助手は家族をめぐる諸問題、及び家族集団外で育つ児童の問題をテーマに研究を続けている。

倉岡助手が47年4月1日をもって聖徳短期大学講師として転任し、代って田向が助手として研究室の一員となった。

次に昭和47年度に於ける著作・論文の主たるものを幾つか挙げておく。

『児童福祉の実証的研究 児童相談所と里親制度』誠信書房 松本武子著

「里親制度運用に関する比較研究」日本女子大学文学部紀要21号 松本武子

「在宅児童指導の体系化に関する研究」昭和46年度の厚生科学研究 松本武子

『市民生活と社会保障』総合労働研究所 佐藤進著

『社会福祉』第一法規出版 佐藤進共編著

「社会保障の法的課題」有斐閣ジュリスト 昭和47.4.1号 佐藤進

「堀木訴訟判決と社会福祉行政の課題」有斐閣ジュリスト 昭和47.12.15号 佐藤進

「地方自治における問題性」社会福祉研究10号 佐藤進

「労働基準法32条・33条論」法学セミナー、労基法コンメンタール 日本評論社 佐藤進

「労働災害・職業病問題と権利闘争の課題」労働法律旬報 昭和47.2月号 佐藤進

「通勤途上災害とILO条約・勧告」有斐閣ジュリスト 昭和47.10月号 佐藤進

『社会福祉の道』風媒社 一番ヶ瀬康子著

『生活の歴史』ドメス出版 一番ヶ瀬康子共編

「これからの婦人雇用」 学陽書房 一番ヶ瀬康子
共同執筆

「社会福祉の専門職とは何か」 鉄道弘済会 一番
ヶ瀬康子共同執筆

「戦後日本の社会福祉研究」 労働旬報社 賃金と
社会保障 昭和47.9月下旬号 ㍷610 一番ヶ瀬康
子

「福祉問題の現代的課題」 世界 昭和47.10月
号 一番ヶ瀬康子

「矯陋神祠の取扱について」 社会と伝承13-2
米地実

「働く婦人の社会保障」 労働旬報社 賃金と社
会保障 ㍷606 田端光美

「農村における老人福祉問題」 日本農村生活研究
会 農村生活研究第32号 田端光美

「社会福祉の理解を高めるために — 住民の社会福
祉問題の認識に関する調査報告」 東京都社会福祉協
議会 田端光美分担執筆

「戦後の児童養育 — 子どもの養育と捨子」 全国
社会福祉協議会 月刊福祉第55巻第4号 宇都栄子

その他

以上、研究室近況の簡略な報告である。

(昭和48年2月 田向記)